自然豊かであふれる笑顔と思いやりのまち　東与賀

2018.5
vol.9

つながる東与賀　検索

東与賀まちづくり協議会だより

発行：東与賀まちづくり協議会

公開シンポジウムin佐賀が東与賀文化ホールで開催

～豊かな干潟を未来に残すために～

国内では25年ぶり2回目となる「アジア湿地シンポジウム2017」が11月7日から5日間にわたり佐賀市で開催されました。

アジア地域をはじめ27の国から湿地の保全に関わる研究者や団体が集まり湿地の管理や活用などに関する情報共有や議論が交わされました。

アジア湿地シンポジュウム2017の佐賀市開催を記念し、最終日の11月11日（土）には公開シンポジウムが東与賀文化ホールで開催され、アジア湿地シンポジュウム2017の成果報告をはじめ、有明海のラムサール条約3湿地（東よか干潟、肥前鹿島干潟、荒尾干潟）の市民レベルでの連携と今後の展望について議論が交わされました。また、子どもたちの活動発表、スペシャルゲストによるトークショーなどによって、有明海の干潟の価値や魅力が多くの人に伝えられました。

文化ホールホワイエでは、東よか干潟の環境に配慮をした農法で栽培された特別栽培米「シギの恩返し米」も販売されました。

安全・安心部会

安全・安心部会では、「安全・安心で元気に楽しく暮らすまち」を目指し、部会員それぞれの地区を見回り、毎月の定例会に持ち寄り話し合ってきました。しかい、これでは一部の地域しか見回れておらず、また、一人で行うため隅々まで把握しきれないのが現状でした。そこで部会員全体での見守り活動を実施してはとの意見が出て、車に取り付けて夜でも反射してわかりやすいマグネット式表示板を作成し、町内一円を定期的に見守る活動を開始しました。

この活動を通じて少しでも安全・安心に役立てればとの思いで取り組んでいますので、皆様方のご理解とご支援のほどよろしくお願いします。

人のつながり部会

人のつながり部会では、町民ラジオ体操会・シチメンソウまつりで挨拶運動をおこないました。また、アジア湿地シンポジウムが東与賀文化ホールで開催され、海外をはじめ多数の参加者がありここでも挨拶運動を展開しました。

回を重ねるごとに挨拶運動への参加者も多くなり、挨拶運動への理解が少しは出てきたと思います。今後とも会員の皆様のご理解とご協力のもと、挨拶運動を続けたいと思います。

健康・福祉部会

健康福祉部会では、年2回の部会だよりの発行と町民体育祭・ラジオ体操会への協賛、男の料理教室を開催しました。老人クラブでは、昔あそび講習・昔の農具勉強会にも部会が協力し、子どもたちの健やかな成長を支援しています。

平成30年で健康福祉部会も6年目を迎えます。今後も皆様の健康を守るための活動を行いつつ、福祉にも力をいれていきたいと思います。

これからは超高齢化社会となり、必要とされる介護や医療を十分に受けられるか心配です。そのため高齢者が安心して暮らせる街を目指し、いろいろの意見を出し合い、より良い、誰もが住みやすい東与賀を創っていくために頑張ります。

東与賀まちづくり協議会
健康福祉部会だより
～第6号：平成30年3月発行～

老人クラブの会員さんによる講習会

昔の農具勉強会

1月19日（金）小学3年生を対象に、「昔の農具」の勉強会が行われました。

生徒たちは、町内の農家から提供された昭和初期からの農具が展示されている町中央公民館で、老人クラブの会員さんから、農具の役割や使い方を熱心に聞き、農具をスケッチしたりメモを取って、昔の様子に思いを巡らせていました。

生徒たちは、この勉強会を通して農業に関心を持ったことでしょう。

昔あそび講習

世代間交流事業の一つとして2月15日（木）小学1年生を対象に、「昔あそび」の講習が行われました。

当日は雨のため体育館で行われ、生徒たちは各班に分かれて、竹とんぼ・けん玉・羽子板・あやとり・めんこなどの昔遊びに歓声をあげて楽しんでいました。

終わってからはそれぞれの教室で、学校内の畑で自分たちで作った大根や人参の煮物を老人クラブの会員の皆さんと一緒に食べて、楽しい時間を過ごしました。

一生懸命に昔のあそびを楽しんでいる子供たちの純粋さにふれ、老人クラブの会員の皆さんも元気をもらったことでしょう。

子供は宝です。地域での見守り活動をよろしくお願いします。

地域の活性化部会

第5回の新春親子凧揚げ大会開催

2月17日(土)の凧づくり教室に24名の子どもたちが参加してくれました。手づくりの凧に思い思いの絵を描き25日(日)の大会に向けて準備をしました。大会当日はあいにくの雨となり、場所を干潟よか公園から改善センター大研修室に移し、小学2年生以下と上級生の組に分け絵の出来具合で評価をし、表彰をすることになりました。それぞれ上位3組を表彰し図書券を、また、参加者全員に参加賞をプレゼントしました。

雨のため外での凧揚げができませんでしたので、室内でできる軽スポーツ「ガラッキー」をしてみんなで楽しみました。
最後は餅いりぜんざいでもてなし、大変好評でおかわりも続出しました。

来年の6回目もたくさん参加をお待ちしています。

子どもの育成部会

今年度の子どもの育成部会は、児童生徒を中心にした「米づくり体験事業」と「夢プラン講演会」を予定していました。

6月26日に小学5年生が田植えをし、10月24日に稲刈りをしました。JA青年部の協力もあり今年は沢山の米が収穫できて、11月3日のシチメンソウまつりで販売できました。子ども達の熱心な売り声で評判も良く売り切れました。また、干潟体験活動を佐賀野鳥の会の吉原先生と自然史研究会の副島先生の協力で行いました。こういう活動を通して東与賀の誇りである干潟に興味を持ってくれると嬉しいです。

小学6年生と中学生を対象にした夢プラン講演会を予定していましたが、インフルエンザの流行で中止せざるを得ませんでした。今回は明治維新150年ということで佐賀城本丸歴史館の講師にお願いしていましたが中止になりとても残念でした。機会があれば再度講演会を開催したいと思います。

自然・環境部会

自然・環境部会では、「四季が見える自然の宝を守るまち」を目標に活動を進めています。東よか干潟がラムサール条約に登録され、より一層環境保全活動に取り組むことが求められており、このことから多くの人のご協力いただきながら海岸清掃をはじめ、干潟よか公園周辺にシチメンソウを育てる会と一緒にコスモスの種まきをするなど環境美化活動をおこなっています。

また、今年度からラムサール条約のブランドイメージを活用して、「シギの恩返し米」の実証試験に行政等の協力を頂きながら取り組んでいます。

東与賀まちづくり協議会視察研修

平成30年度「夢プラン」の見直しを検討しています。このことから3月6日（火）大牟田市倉永校区コミュニティセンター「倉永校区まちづくり協議会」・荒尾市環境政策課・ラムサール条約登録湿地「荒尾干潟」の視察研修を実施、まちづくり協議会17名、公民館から2名が参加をしていただきました。

倉永校区まちづくり協議会の拠点施設として利用されている、倉永校区コミュニティセンターにおいて、倉永まちづくり協議会、井形陽一会長ほか役員の皆様から、まちづくり協議会の活動について説明をしていただきました。

特徴的な取り組みとして、まちづくり協議会が市から支援を受け、車を無償で貸うけ、倉永生活循環バス（10人乗り）を運営協議会で運営、無料で誰でも乗れるコミュニティバスを運行、年間約230万円程度が必要で、うち運転手謝礼、事務通信費、110万円を、まちづくり協議会活動費、住民の寄付で賄っているとのことでした。また、先進的な取り組みとして、「くらなが安心ネット」、コミュニティセンターにインターネット、フリーWi－fi（ワイファイ）を設置、スマートフォン・タブレットのLINEを利用し、防犯、防災、高齢者の行方不明者捜索等の取り組みをされていました。今後、これらの視察研修が、東与賀まちづくり協議会の活動に参考になればと思っています。

午後からはラムサール条約登録湿地の荒尾干潟の荒尾市役所環境保全課の担当者に拠点施設の利活用や、荒尾干潟のワイズユースの取り組みについて伺いました。また、荒尾干潟保全・賢明利活用協議会の皆さんと一緒に荒尾干潟の現地に行き、施設の進捗状況や今後の取り組みなどを聴くことが出来ました。

問い合わせ　○東与賀まちづくり協議会　東与賀農村環境改善センター内 東与賀公民館　TEL：45－0375

リサイクル適性Ⓐ　この印刷物は、印刷用の紙へリサイクルできます。